

環境経営レポート

株式会社 エヌ・シー・ロード



レポートの対象期間

2023年度（2023年6月～2024年5月）の1年間の活動

《目次》

1. 環境経営方針	P-1
2. 事業活動の規模	P-2
3. EA21推進体制	P-3
4. 環境経営目標とその実績	P-4
5. 環境経営の取組計画と評価・次年度への取組	P-5
6. 環境関連法規制の遵守	P-6
7. 代表者による全体評価と見直しの結果	P-6

1. 環境経営方針

〔基本理念〕

株式会社エヌ・シー・ロードは、ダイカスト金型の設計、製作を主とする事業活動の全領域において、企業としての社会的責任を遂行すると共に、地球環境に配慮した事業活動に努めます。

社員一人一人が地域そして地球環境について考え、配慮し、子供達に明るい未来と豊かな自然を継承出来るよう積極的に環境保全活動の取り組みを推進します。

〔基本方針〕

環境保全活動を推進するにあたり、以下に主な活動項目を掲げ取り組みます。

1. 当社の主力事業である、金型設計、製作の各領域において、技術的・経済的な事情を考慮の上、環境に与える影響を低減するとともに、循環型社会の実現に努めます。
 - ①事業活動における環境負荷の低減に努めます。
(調達改善・業務効率向上・ムダロス削減)
 - ②二酸化炭素排出量削減のため、使用電力削減・使用化石燃料削減・廃棄物の単純焼却の削減に努めます。
 - ③事業活動で発生する廃棄物は、発生を抑制するとともに再使用の向上に努めます。
 - ④限りある水は、使用量削減のため節水に努めます。
 - ⑤環境に配慮した資源調達（グリーン調達）の推進に努めます。
2. 環境活動の継続的改善を推進するにあたり、環境目標・環境活動計画を策定し取り組みます。
策定した目標・活動計画は定期的にあるいは必要に応じて見直します。
3. 事業活動において、環境に関わる法律・規制・その他の環境関連要求事項を遵守します。
4. 環境方針は、全社員に周知するとともに、環境教育を行い社員の環境に関する意識の向上を図ります。
5. この環境方針は、社内外に公表し、地域社会とのコミュニケーションを図ります。

制定日 2012年 10月 1日

株式会社 エヌ・シー・ロード

代表取締役 山口 正人

2. 事業活動の規模

1. 事業所及び代表者名

株式会社 エヌ・シー・ロード
代表取締役社長 山口 正人

2. 所在地

本社 〒341-0044 埼玉県三郷市戸ヶ崎1-336-5
会津工場 〒967-0015 福島県南会津郡南会津町滝原字夏井ノ上1142

3. 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

代表責任者 : 代表取締役社長 山口 正人
環境管理責任者 : 取締役工場長 猪俣 秀規
担当 : 渡部 絹子
TEL : 0241-66-2588
FAX : 0241-66-2586

4. 対象範囲

株式会社 エヌ・シー・ロード 全組織 全活動
本社は登記上のみで活動はなし

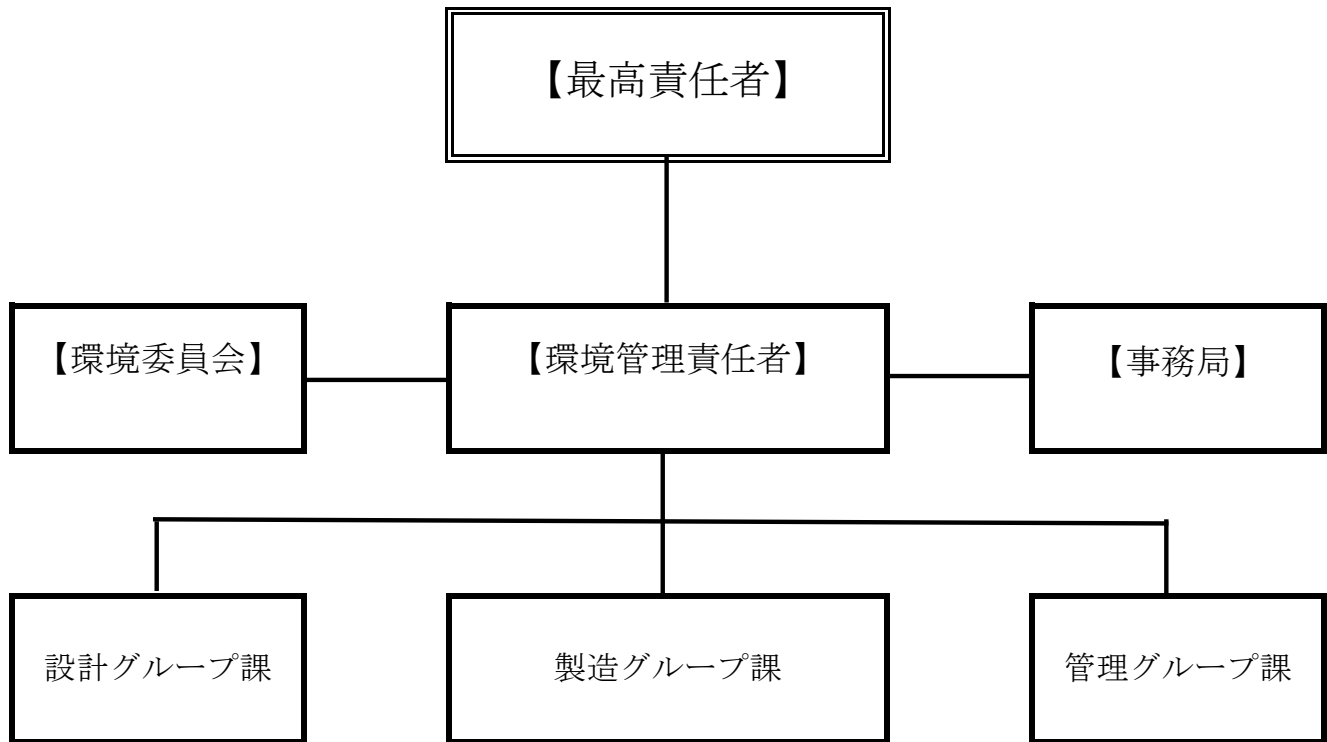
5. 事業の内容

ダイカスト金型の設計・製作

6. 事業規模

活動規模	単位	2020年度 (38期)	2021年度 (39期)	2022年度 (40期)	2023年度 (41期)
売上高	百万円	170	209	210	228
生産型数	型	48	56	53	55
従業員数	人	14	13	15	13
二酸化炭素排出量	Kg-CO ₂	232, 825	262, 118	227, 279	225, 365
一般廃棄物	t	0. 8	0. 8	0. 7	0. 7
産業廃棄物(有価物含)	t	14. 4	10. 2	15. 4	11. 7
水使用量	m ³	326	270	83	112
資源使用量(鉄・銅)	t	50	55	58	57

3. EA21推進体制



職 名	役 割
最高責任者	①環境管理責任者をはじめ、必要な責任者を任命する。該当責任者には、現在の責務に関わりなく、兼任で責任と権限を明示する。 ②エコアクション21の構築・運用・維持に必要な経営諸資源（人材・資金・機器・設備・技術・技能を含む）を準備する。 ③環境経営方針を制定する。 ④エコアクション21の構築・運用に関する情報を収集し、環境経営方針・環境目標をはじめシステム全体の見直しを行い、必要に応じ改訂を指示する。
環境管理責任者	①エコアクション21に関する経営諸資源の合理的・効果的な運用を図り、目的を達成するために環境委員会を運営する。 ②エコアクション21の構築と運用を円滑に行い、最高責任者による見直しのための情報として、構築・運用に関する情報を最高責任者に提供する。
事務局	①事務局として、環境管理責任者を補佐し、エコアクション21に関する実務全般を所管する。
環境委員会	①最高責任者・環境管理責任者・事務局・環境委員で構成し、6ヶ月に1回環境管理責任者が召集する。 ②環境目標の設定、環境活動計画の策定及び進捗管理について協議する。 ③環境管理責任者が必要と認めた者は出席することができる。

4. 環境経営目標・計画とその実績

購入電力の排出係数は、丸紅新電力0.502kg-CO2/kwh(R4年公表調整後)を使用しています。

環境目標	基準値	今年度目標				中長期目標	
	2022年度	2023年度				2024年度	2025年度
	実績	目標	目標値	実績	達成状況		
①売上高百万円当たり二酸化炭素排出量の削減(k-CO2/百万円)	1219	2022年度実績に対して1%削減	1207	988	基準値に対して18%削減した。(達成)	2022年実績に対して1%削減	2022年実績に対して1%削減
②売上高百万円当たりの廃棄物排出量の削減(kg/百万円)	3.43	2022年度実績に対して1%削減	3.39	3.13	基準値に対して7.5%削減した。(達成)	2022年実績に対して1%削減	2022年実績に対して1%削減
③一人当たりの水資源投入量の削減(m ³ /人)	5.533	2022年度実績に対して1%削減	5.48	8.61	基準値に対して56%増加した。(達成できず)	2022年実績に対して1%削減	2022年実績に対して1%削減
④化学物質適正管理	—	適正に管理する	—	—	適正に管理できた。	適正に管理する	適正に管理する
⑤金型製作管理	—	金型1Try合格	目標値75%	実績78%	目標達成	80%	80%

5. 環境経営の取組みと評価・次年度への取組

2023年（2023年6月～2024年5月）の1年間の活動

環境経営計画	環境経営計画の取組み結果の評価
二酸化炭素排出量の削減 ①コンプレッサの点検・整備 ②エアー洩れのチェック ③照明・PC電源不用時のOFF ④エアコン清掃の実施 ⑤エコドライブ推進 ⑥社用車の点検・整備 ⑦電力・ガソリン量の集計 ⑧原因分析と削減方法の検討	・目標値は達成できました。節電行動が定着してきている。 ・製品納入便の回数を減便等の策を講じた。 ・フォークリフト電動化(2023. 12月)
	次年次への取組内容 ・継続して二酸化炭素排出量の削減に取り組む。
環境経営計画	環境経営計画の取組み結果の評価
廃棄物排出量の削減 ①分別ルールの徹底 ②廃棄物置き場のチェック ③廃棄物排出量の集計 ④裏紙使用ルールの徹底 ⑤原因分析と削減方法の検討	・目標値, 達成できました。 ・廃棄物の分別ルールが定着し減量できた。
	次年次への取組内容 ・ゴミ分別の徹底。継続して削減に取り組む。
環境経営計画	環境経営計画の取組み結果の評価
水資源投入量の削減 ①検針票の集計 ②節水意識 ③水漏れチェック ④原因分析と削減方法の検討	・目標値は、使用量が増えてしまった。 ・要因としては、新規設備導入に伴う加工水の入替
	次年次への取組内容 ・社員に更に節水を呼びかける。 ・定期的に水漏れのチェックを徹底する。
環境経営計画	環境経営計画の取組み結果の評価
化学物質の適正管理 ①SDSによる適正管理 ②新規購入品のSDSの把握 ③種類、使用量の把握	・SDSによる適正管理に努めた。 ・使用量を把握している。
	次年次への取組内容 ・継続し適正管理に努める。
環境経営計画	環境経営計画の取組み結果の評価
本業に関する目標 ①金型完成の1Try合格率をアップする ②顧客に喜んで貰える金型作り ③データの徹底管理 ④ATOSの活用 ⑤マシニング技術の共有化	・目標5つの項目を掲げ計画に沿って実行した為、黒字化が達成できた。
	次年次への取組内容 ・顧客に喜んで貰える金型作り・1Try合格率アップの為、全社員一丸となり引き続き活動をしていく。

6. 環境関連法規制の遵守

1. 当社に適用となる主な環境関連法規

法規制等の名称	当社の対応	遵守状況
浄化槽法	年1回第11条検査を受ける	遵法
騒音規制法	届出の実施	遵法
振動規制法	届出の実施	遵法
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	委託契約の締結 マニフェストAB ² DEの適正使用及び保管 保管は5年間保管 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出	遵法
消防法	年次点検実施 防火管理者選任 危険物貯蔵管理	遵法

2. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

環境関連法規への違反はありません。

尚、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。

7. 代表者による全体評価と見直しの結果

今期も引き続き継続は力なりをモットーに、これからも日本海最上流のリゾート地で製造業をしている自覚と責任を持ち、さらに社員ひとりひとりが積極的にこの活動を今後も続けて頂きたい。今期は20年使用した老朽化したワーヤー放電加工機を新しく2台入替をしました。メーカーの説明によると30%程度の電力省力になる説明がありました。このことはCO2削減活動の大きなポイントになります。